



麻績村社会福祉協議会

社協報

vol.25 令和元年 9.20 発行

8月25日(日)

第9回ふくしのつどい
が開催されました。



今年のふくしのつどいでは、初の試みで村民有志や介護サービス事業所の職員などで結成されたおみごと劇団の初公演が行われました。

3回のリハーサルと個人練習を重ねて重ねて迎えた当日。

緊迫感あふれる出だしにドキリ、マイペースなよねさんとの会話に笑いがこぼれ、紹介されていく村のサービスにうんうんとうなずいたり、会場全体が程よい一体感で盛り上がりました。



おみごと
まるっと
ささえあい



あーっ!

社会福祉法人麻績村社会福祉協議会
麻績村麻 2787 デイサービスセンターみづき
電話 67-3099 FAX 67-3185

「コケました！」ので よろしくお願ひします

あらすじ紹介



五年前にご主人を亡くした宮下よねさん（八十八歳）。生まれ育った麻績村で現在ひとり暮らしをしています。今は、山間の畑でいろいろな野菜を作るのが楽しみで、離れて暮らす子供や孫たちに自分で作った野菜を送ることが生きがいです。

ある日のこと。いつものように一人で畑仕事に精を出していたよねさんは、肥料袋を持ち上げようと
して転んでしまいました。

「助けてえ！」

通りがかった民生委員さんに救急車を呼んでもらって何とか病院へ連れて行ってもらったものの大腿骨を骨折してしまい、心ならずも入院することに。手術とリハビリをして杖で数メートル歩けるようになったころ、麻績村からよねさんの入院している病院に地域包括支援センターの関崎さんがやってきました。

「みんなが心配してくれるのはありがたいけど、私はね、あの家に帰りたんだよ…」

二人の子供たちの前で切々と訴えるよねさん、ひとり暮らしをさせることに不安のある子どもたち
地域包括支援センターの関崎さんは麻績村で使えるサービスについて一つ一つ説明します。（詳細については【保存版】麻績村ですと暮らししていくために）をみてね。）



「思ったよりいろんなサービスが充実しているんだなあ。心配もあるけど何とか一人でやっていけるかい？」
「母さんは頑張り屋さんだから、無理しすぎないでね」「ではみんなだよねさんやご家族が安心して暮らしていくことができるように相談しましょう」

こうしてよねさんの《もう一度ひとり暮らしを続けていくためにみんなでささえあおう》計画が始まりました。

そして時は流れ。

今日もよねさんはたくさん野菜を収穫してほくほくと家路をたどります。途中民生委員さんや近所のおともだちといっしょになり、いつものようによねさんちでお茶ことなりました。

「みんなに助けてもらって、また家で暮らせるようになったから、できることはやらなきゃね。」

「そうだよ。ぼおくとしてたら怒られちゃうよ！」

地域包括ケアシステム、

《おみごとまるっとささえあい》

助け上手は助けられ上手！頼り頼られ、これからも、住み慣れた麻績村で暮らしていくためにみんなで力をあわせて頑張っていきましょう。





ふくしの つどいより

よねさんの物語はいかがでしたか。
もちろん他にもいろいろな場合があると思
います。その時々に応じて寄り添ってい
きたいと思っていますので、皆さん遠慮な
くご相談ください。

社協会長表彰
お二人の方が表
彰されました。



小学4年生の発表
音楽会を再現！



伝統の
筑中ソーラン！
スタッフとして
も頑張ってくれ
ました！感謝！



福祉用具
の相談

ゲームワ
ールドでは手
作りのゲー
ムに挑戦！



忙しいあなたに
癒しの時間を。
ハンドマッサージ

手芸作品に興味津々





各テーブルに
突撃！テーブルリハ



高齢者疑似体験

皆様のご協力
に感謝！古布
回収



● 村民のみなさんでの作品
あなたの折った一枚がこの中に。 ●

令和元年になって数えてみたら、今年デイサービスセンターみづきは成人式を迎えていました。建物とともに始まった介護保険サービスも早 20 年。様々なサービスが麻績村で根付いています。今年のふくしのつどいは、そんな麻績村で自分らしい暮らしを続けていくことについて一緒になって考えていってほしいという願いを込めました。

ふつうのくらしのしあわせは見つかりましたか？



市野川地区住民有志のグループ「大峠を世に出す会」で営まれていたそば店「お仙の茶屋」。開店以来 15 年間「土・日営業のおそば屋さん」として多くのファンに親しまれてきましたが、会員の高齢化などにより 8 月 31 日の感謝祭を区切りとして閉店となりました。

この度、最終日の売り上げ 165,285 円を「麻績村の福祉向上のために。」と麻績村社会福祉協議会にご寄付いただきました。「お仙の茶屋」の暖かい思い出が麻績村の福祉につながっていくように大事に使わせていただきたいと思います。

本当にありがとうございました。
皆様のご健勝をお祈りいたします。